



世界ソーシャルワークデーに寄せて

IFSW アジア太平洋地域会長からのメッセージ

2026年3月17日

世界ソーシャルワークデーにあたり、私たちは世界中のソーシャルワーカーの皆さまとともに、私たちの専門職の重要性と、その実践を支える価値を改めて認識したいと思います。

現在、多くの社会において分断が深まり、不確実性が高まり、格差が拡大しています。紛争や経済的困難、社会的排除は、世界各地のコミュニティに影響を及ぼし続けています。このような状況において、ソーシャルワーカーの役割はこれまで以上に重要となっています。

今年のテーマ「分断された社会をつなぐために、希望と調和をともに築く (Harambee)」は、希望が単なる願いではなく、連帯や対話、そして協働の実践を通じてともに築かれるものであることを示しています。

アジア太平洋地域においても、ソーシャルワーカーは困難な状況にある人々や家族、地域社会に寄り添い続けています。傾聴やアドボカシー、地域との協働を通じて、人々の尊厳を守り、信頼関係を育み、社会のつながりを強める役割を担っています。

世界ソーシャルワークデーにあたり、私たちは社会正義、包摂、人間の尊厳へのコミットメントを改めて確認するとともに、すべての人が尊重され、誰一人取り残されることのない社会の実現に向けて、引き続き力を合わせていくことを呼びかけます。

また、世界中のソーシャルワーカーの皆さまの献身と日々の実践に、心より敬意と感謝を表します。

小原真知子

国際ソーシャルワーカー連盟アジア太平洋
地域会長

小原真知子